

船木小・椎柴小学校統合準備委員会 第2回 会議概要

- 1 日 時 令和7年10月15日（水） 午後6時30分から午後7時40分まで
- 2 場 所 銚子市立椎柴小学校 会議室
- 3 出席者 委 員 校長、保護者代表、地域住民代表（出欠別紙名簿のとおり）
事務局 中西教育長、本田学校教育課長、稲垣教育総務室長、
渡邊指導主事、林副主査

4 概 要

(1) 開会

(2) 教育長挨拶

(3) 議事

【会長】

では、「3 議事」に移ります。

「(1) 統合小学校の校名の選定について」事務局に説明を求めます。

【事務局】

それでは、私から統合小学校の校名の選定について説明します。

委員の皆様のお手元に新小学校校名募集結果 集計表がございますでしょうか。
こちらの資料1－1が船木小学校の集計結果。資料1－2が椎柴小学校の集計結果。
資料1－3が船木小学校及び椎柴小学校の町内の集計結果。資料1－4がそれらを
まとめた集計結果となっております。

委員の皆様には、集計結果をご覧いただき、統合小学校の校名についてご意見を
いただけたらと思います。

また、本日、皆様からのご意見をもとに、本委員会において、統合小学校の校名
候補を数点決定したいと考えておりますので、ご了承いただけたらと思います。説
明は以上となります。

【会長】

ありがとうございます。事務局の説明につきましてご質問がありましたら、ご発
言いただきたいと思います。

【委員】

確認でよろしいでしょうか。今日この場で決めるわけではないということで、ま
ずはよろしいんですね。最終的にはどなたが決めるというか、何の会議で。

【教育長】

教育委員会会議で議決をすると、最終的には議会に報告、上程するということになりますが決定するのは教育委員会です。ですから今日はその候補を皆様の方で絞っていただけたらと。

【会長】

よろしいでしょうか。

【委員】

はい。もう一つすいません。たとえばなんですが、候補をここで絞ることはわかったんですが、それをもう一度子供とか地域の方に、こういう候補になりました。この中でどれが良いですかみたいな形で投票してもらおうというような考えはないということでしょうか。

【事務局】

今のところそういったプロセスを踏む予定はございません。というのも、校名の候補を最終的に市議会のほうに上程する。そのスケジュールとして、今年度の12月市議会がタイムリミットとなっております。そこを考えたところ、ここで候補をいくつか絞っていただき、教育委員会の会議で最終的に決定。市議会12月議会上程というのがタイムリミットというところで、スケジュール的にはちょっとそういったプロセスは考えておりません。

【委員】

はい。ありがとうございました。

【会長】

ありがとうございました。では他にはご質問よろしいでしょうか。

それでは事務局からの説明にあったとおり、校名候補として皆さんのご意見をお願いいたします。では、先ほど事務局より説明がありました船木小学校「資料1-1」、椎柴小学校「資料1-2」、この中から候補を決定いたします。

では、候補を絞りたいと思いますが、どうでしょう。ご意見等ございますでしょうか。

【事務局】

ちょっとすいません。皆さんお手元に「資料1-4」はございますか。1-4が全部の集計になっていきますので、そちらの一番左側に振ってあるナンバー、それで何点かそれぞれお考えになってくださっていると思いますので、それを1人ずつお示ししていただければと思います。

【会長】

校名を絞るのは大体いくつですか。

【事務局】

こちらの考えとしては3点から5点程度、教育委員会会議でかけられればと思っていますので。高嶋さんから順番に時計回りに。

【委員】

特別これ、多い順についてということじゃなくて、少なくとも。

【事務局】

はい。問題ございません。

【委員】

そうですか。あれですか、いくつか。

【事務局】

そうですね。何番の何々っていう形で何点かお示しいただければと思います。

【委員】

そうすると、これ船木と椎柴があつて、名前が逆になったりとかつて船柴とか椎木とか。地域の方はね、やはり自分のほうが先っていうのは多いでしょうけど、なかなかちょっと決めにくいところがあるので、個人的にはそうですね。まずはこの西、西ですね。あとはここに多いかもめですか。西とかもめ。もしくは利根かもめとありますけど、西とかもめですかね。あとは、船柴とか椎木はやっぱりちょっと片方が先に来るので、少し何となく決めにくいところがあるので、ちょっと個人的にはその2つあたりから思っております。

【会長】

はい、ありがとうございました。15番西と39番かもめがありました。

では宮城委員様よろしいでしょうか。

【委員】

15番の西と39番かもめ、あと利根かもめを。あと銚子西の4つですかね。

15番、17番、38番、39番。

【会長】

15、17、38、39。はい、ありがとうございました。では、石松校長先生、よろしいでしょうか。

【委員】

悩むところですけども、一番まず、なんか無難だなと思ったのは、もう椎も船も入れないパターン。そうすると、さっき高嶋さんも言われたけど、入るとやっぱりどっちが先だ、どっちが後かっていう話になってくるので、これはちょっと解決しづらいかなと思いましたが、椎も船も、本当私は「ふなっしー」でも何でもいいかなと思ってですね、なんか著作権、怒られそうなんですけど、本当に「ふなっしー」でも全然いいぐらいにちょっとふざけた感覚としては思ったんですけども、でも別にふざけてじゃなくて船椎だったら、あれなんですよ。でもそれやると、

なかなかまた前だ後だっていう問題が出てくるので、まず私の中ではそれは一切つけない方がいいのではないかと思っていました。そうなったときに、本当に無難なのは野尻町にあるから野尻小ってすごくつまらないなと思って。あまりにつまらないなと思ったんですけど、総合的に見たときには、やっぱり町名を取るのが一つの手かなと思ったのが一つです。野尻小、それからさっきから出てるように、西にできる学校なので、西小。あとは銚子をつけるかどうかですけど、銚子西小にするのか、銚子市立西小にするのかっていう、それから利根っていう名前がいいなそう思っていました。結構どちらにも大利根川のとかそういう校歌とかにも入ってきますので、やっぱり利根小とか、大利根小とか、そういうちゃんと聞くとそういう名前が何か旭かなんかでもできそうだっていうのはちょっと聞いたので、あらそれはどうなんだろうって思ったんですけど、それから、かもめですよ。かもめっていうのも何となくニュアンスでイメージとしてかわいいなっていう、校章か何かを作ろうとしたときに、かもめを描いていって、そういうのがなんか膨らみやすいかなとはちょっと思いました。いっぱいあってすいません。以上です。

【会長】

はい、ありがとうございました。では、船木小PTA会長の田邊様。

【委員】

はい。自分は35番の利根小学校と39番、かもめ小学校ですね。単純に親しみやすいかなっていう理由で。利根小学校、言いやすい。かもめ小学校、言いやすいような感じでいいかなと思いました。利根かもめっていうのもあるんですけど、ちょっと長いかなと思って、名前が。だったら、かもめ小学校のどちらかがいいなと。35番、39番を選びたいと思います。

【会長】

35、39。はい。ありがとうございました。では副会長の栗原様。

【委員】

やっぱり、あの地域の小学校になってくるので、いろいろな思いが含まれてるとか、やっぱり地域ならではの言葉を使ってくるっていうところがアンケートでも出てるので、利根、利根川の利根を使うか、かもめ大橋とかかもめっていうのも非常に銚子らしいので、利根を使ったりかもめを使ったりするところがいいのかなっていう気はします。やっぱり学校名をもじるのはちょっと避けた方がいいかなと。お互い何かこの先ちょっと変な気持ちになっても仕方ないので、だったら一切使わない形で新しい校名がいいのかな。あと、ちょっと西についても、中学校だと東とか銚子中とかでもいいかな、小学校なのでせつかなので、新しくできるので何かちょっと、うん。ちょっと小学生っぽくないので、何かそういう思いを込めてあげたほうがいいのかなっていう気はしてるので、その辺からするとやっぱり利根とか、

かもめを。どう使うかというのはいろいろあるので、ちょっとこれっていうところはまだ出てこないんですが、利根川の利根、かもめを使ったものがないのかなっていうのが希望であります。

【会長】

ありがとうございました。では、ちょっと私からですけども、39番のかもめ小学校が自分の中でイチオシです。なぜかと言いますと、ちょっとネットで調べましたら、かもめ小学校は全国にない唯一の小学校で、清水、明神とか豊里とか春日、双葉という学校は全国にある学校なんですけども、かもめはサザエさんのかもめ第三小学校が、はい。なので、ネットではかもめって調べたらすぐここがヒットする。

【委員】

利根はあるんですかね。

【委員】

群馬県の利根郡とか。利根川の上流のほうで出てきそうですね。

【会長】

かもめ大橋にも引っかかっているというところで、確かに利根かもめも考えたんですけど、椎柴と船木は利根川沿いなのでまあいいかなと思ったんですけども、ひらがなのかもめっていうのもちょっと魅力的かなと。覚えやすくて、ということで。

唯一って言ったんですけど、ネット調べです。正確に調べれば、多分ないと思います。意外となかったの。あと、船木椎柴さんと船木を見ると一番数的には子どもたちというか、大人の表でいくと、数的には一番だったのかなと思って。はい。私はそれが押しです。すいません。では事務局のほうで。

【事務局】

皆さん、今のご意見を参考に3から5ぐらいで数を絞っていただければと思います。

【会長】

どうもありがとうございました。では今のお話、挙がってきましたのが2番野尻。それから15番西。17番銚子西。それから38番利根かもめ。39番かもめ。この5つが挙がってきました。

【事務局】

35番の利根もです。

【会長】

35番、ごめんなさい。利根も。

【教育長】

利根、大利根も。

【会長】

利根、大利根。はい、7つですね。もう一度復唱します。2番野尻、15番西、17番銚子西、35番利根、36番大利根、38番利根かもめ、39番かもめの7つが挙がりました。よろしいでしょうか。では7つですけれども、これを5つに絞った方がよろしいですか。

【事務局】

そうですね。もうちょっと絞っていただけると。

【委員】

栗原さん言われましたけど、西はなくてもいいかもしれない。

【会長】

はい、そうですね。15番西がなくても。

【委員】

一つ質問いいですか。教育委員会さんの、いわゆるこっちの西側の小学校がいわゆる椎柴船木があるんですけど、豊里、この先の展望として、その西っていうその学校名をそういうものに西中がありますけど、これ全くあの個人的な意見ですけど、中央に銚子中ですね、統合になって銚子西中学校がありますよね。将来、例えばその西部が1個、東部が1個、中央が1個、小学校がそういう展望とかっていうのは、もし先にあったりするとしたら西も候補になるのかなっていう。すごい先ですね。というのはお金かけて、今の六中を直すわけですよ。せっかく直すんなら長く使える方がいい。そしたら西部に統合校がもし駅の近くなのでそれは自分自分とこに近いとか全くそういうあれはないですよ。それは豊里の地区でも、うちの椎柴地区と船木椎柴地区でもどこでも構いませんけれど、せっかくお金かけて直すならば、将来またさらに統合となるんだったら、そういう感じでいくと、西も候補に入ってる方と西中がね、ありますからね。西小、西中というか、そういう流れも一つの意見としてはあるんじゃないかと一応。

【会長】

ありがとうございます。今のご意見も含めまして、いかがでしょうか。

【委員】

それだったら、残しても。

【会長】

そうですね。ただ今、西小を残すというご意見がありました。すいません、私の方も話をしてよろしいでしょうか。統合するとしたら、やがて豊里とかと統合するとしたら、多分また新しい校名が生まれてくる。吸収であれば、名前は変わらないんですけど。なので、また統合したときに西というものを選んでもいいかなというふうに。

はい。ただごめんなさい。西は残すか、7つのうち2つ削らなくちゃいけないん

ですけれど。

【委員】

西と銚子で、西を一つで何か残してこっちも何か利根とか、利根かもめとか何か。何かキーワードがそんなあれですよ。西と利根とかもめと、あと野尻と。これで4つぐらいなので、そこからどれにするか西にするのか銚子西するのか。利根にするのか大利根にするのかってその辺のところも何か話し合われた方がいいのかなっていう気は。

【委員】

大利根って利根川に近くて校歌にも入っているためって、これ船木小学校私出身だから船木の校歌にあるのは知っていますけども、一番始め大利根川から始まるから、船木小は私よく知っていますけども、椎柴小の校歌に大利根川、大利根は入ってくるんですかね。

【委員】

冒頭に大利根が入ります。「太平洋の海ちかく大利根川の水ひらく」って。

【教育長】

どっちの校歌にも入るんですね。

【委員】

ただ利根っていうと、群馬県のまだそれほど幅が大きくなならないときの利根川なのでこっちの幅がこれだけ広がってくると大利根って、確かにそういう意味だったら利根だったら大利根だっていう。

【会長】

なるほど。

【委員】

それを利根の違いがね。確か群馬県利根郡があったような。

【教育長】

利根町というところにも利根小学校がありますね。

【課長】

今調べたら群馬の前橋に大利根小学校ってありました。

【委員】

群馬県のほうに利根って付くところいっぱいつくところなかったかなって気がしたんですね。

【会長】

そうですね。確かに。

【委員】

だからそれが大利根とくるとこっちは違うぞって。大だぞって。

【委員】

かもめで良いんじゃないですかね。

【事務局】

まだ候補を挙げていただいて。

【委員】

そうですね。

【委員】

ただ利根小学校だったら、大利根のほうかなって。

【会長】

なるほどなるほど。

【委員】

ただ、利根かもめっていうのと大利根かもめかっていわれると、それはどこにも
でてきませんから。

【委員】

銚子市立利根かもめ小学校って、長くて少し噛みそうじゃないですか。

【委員】

何か自分これ結構なんか最近長いのちょっと流行りだなって。最近長い名前が。

【会長】

なるほどそうですね。今、宮城さんのお話で利根、大利根。これどうでしょう。
どちらか削るということですかね。

【委員】

削るなら利根を削る。

逆もあるかもしれませんよ。大利根削るとか、あるかもわかんないですよ。

【委員】

さっき2番の野尻でていましたけど、野尻町なんですけどいいのかなって。そう
思っちゃう。

【会長】

そうですね。

【教育長】

野尻町なんですよ、六中は。

【委員】

そうですね。野尻町です。

【教育長】

銚子は清水町に清水小があり、明神町にも明神小学校があり、なんですけどね。

【委員】

でも椎柴小は椎柴町じゃないですよ。

【委員】

ここ小船木町ですね。

【委員】

昔の椎柴村だ。

【委員】

でも昔小船木って学校の名前に。最初の頃ついてた。小船木小って。でもね、結構昔ですよ。

【委員】

椎柴村、船木村から取ったんですよ。

【委員】

椎柴村と船木村ですね、ちょうどそのときに銚子市に合併になったんですよ。

【委員】

もっと戦前からあるのかな。船木村、椎柴村、だから町名じゃないってことだね。船木小、椎柴小は。

【委員】

そうですね。町名ではないけれど、地元。

【委員】

村ですね。椎柴村、船木村。

【委員】

名前がここに残っているっていうか。

【委員】

ああ、椎柴駅。

【委員】

そうですね。椎柴村にあったから椎柴駅。

【委員】

開通したのが昭和8年。

【会長】

野尻にあるから野尻を残して、ただ、2つこれ被ってるのがあって15番の西と17番の銚子西。西と西で被ってる。

【委員】

そうですね。どっちかでいい。

【会長】

残すんだったらさっきの利根と利根かもめも被っていますよね。利根で被ってるやつを一つ消すっていうのはあれですかね。

【委員】

それも一つの手ですね。

【会長】

1 つずつ消す。であれば、先ほどの 3 5 と 3 6 で、宮城さんがお話した 3 5 を消して 3 6 を残す。

【委員】

いや、逆も結構ありますよ。利根小学校。

【委員】

大利根のほうがいいんじゃないですか。残すなら。

【会長】

大利根小ってほかにもあったんでしたっけ。

【課長】

大利根小はありました。群馬県にありましたけど。

【会長】

大利根、群馬県あるんですか。

【委員】

じゃあ利根小学校も。

【課長】

利根小学校もあります。でも意味合いから言うと、やっぱ大利根のほうがしっくりはくるかなと。

【会長】

そうですね。確かに確かに。

【委員】

校歌にもありますし。

【委員】

利根川は大体どこの学校にもありますよね。皆さんから親しまれて。

【会長】

では 3 6 の大利根を残して、3 5 を削ると。よろしいですか。

【委員】

はい。

【会長】

あと今 6 つなのであともう 1 つ。削るとしたら、西か銚子西ですか。

【委員】

銚子市立銚子西小ってことですよね。それか銚子市立西小になります。

【教育長】

そうですね。2回銚子が付く。

【委員】

銚子西、銚子西中がありますよね。西中の附属の小学校みたいな。

【教育長】

西高は銚子市立銚子西高等学校でしたね。

【委員】

西高が一番先に西を使ったんですよね。

【会長】

銚子西小学校。そうですね。西中のあれですよね。附属小学校みたいですね。

【委員】

銚子西。西だけでもっと西の豊里小はまだあるんですよね。

西中はもう西部が全部一緒になったけど、今回はここなので、もっと西に豊里小があるっていう。

【委員】

確かに。それこそ豊里が加わるときに西小にしても。

【教育長】

そうですね。一番西ですよね。中学校としては西なんですけどね。

【委員】

四中のところは銚子中学校でしたっけ。

【教育長】

銚子市立銚子中学校。

【委員】

銚子中学校。あと銚子市立銚子西中学校。西中は銚子が付くんだ。

銚子中学校は銚子中央とかじゃなくて、ただの銚子中学校。

【委員】

これはあれですよ。他のアンケート書いている皆さんは、この結果はわからない。知らないですよ。最後まで。

【事務局】

公表はしないですね、こちらは。

【委員】

野尻も9票入ってるんですね。

【委員】

西って付くのとは銚子西でも別に。そうですね。たぶん同じことじゃないのかな。

だって、西のところに書いてある理由の中に先に中学校が出来て西中学校になったから統一した方がいいと思いますって。この理由のところに、この理由よくよく

見たら銚子西のほうがむしろこの理由から言ったら、あるんじゃないかっていうのも、だから15番と17番の理由のほうからいうと、同じですよこれね。

どっちでも数が多い、15番と17番が多いからってそんなの関係ないよこれね。だから15か17っていったら、17でいいんじゃないかなと私は思いますけどね。

【委員】

15の人も17の人もほとんど一緒。

【会長】

そうですね。今、銚子西のご意見が出ましたが、よろしいでしょうか。どうですか。はい、皆さんうなずいているようなので、17番の銚子西を残したいと思います。すいません5つに絞られたので、では改めて2番の野尻が1つ目、2つ目が17番の銚子西、3つ目が36番の大利根、4つ目が38番の利根かもめ、5つ目が39番のかもめ、ですね、よろしいでしょうか。以上5つになります。ではこの5つでご意見よろしいでしょうか。

【委員】

(賛成の声あり)

【会長】

では全員一致でよろしく願いいたします。

【事務局】

了解しました。この5つでお伝えさせていただきます。

ありがとうございました。

【会長】

次に、「(2) P T A・通学部会の設置について」に移ります。事務局に説明を求めます。

【事務局】

P T A・通学部会の設置についてご説明いたします。資料1をご覧ください。統合に向けて、今後、様々なことを決めていくために、2つの部会を設置し、その部会で検討し決めていきたいと考えます。

1つ目は、「P T A・通学部会」、主に児童や保護者に関係するものを決めていく部会で、「P T Aの組織及び規約」「通学方法」等について決めていきます。

2つ目は、「学校運営部会」、主に学校の教育課程に関するものを決めていく部会で、教育課程の編成や生徒指導、庶務、行事及び統合前の交流事業を決めていきます。

今回は、まず1つ目の「P T A・通学部会」の設置の承認をしていただくことになります。

統合後の学校として、旧第六中学校を使用することで、現在よりも通学範囲が広

大になります。それに伴い、通学方法についても銚子西中用のスクールバスのように何かしらの通学補助を行う可能性があるかもしれません。そのため、通学方法についてもこの後考えていく必要があります。また、P T A役員の構成や規約に関しましても令和9年度の統合前に決めておかねばなりません。そのために必要なのが「P T A・通学部会」です。

「P T A・通学部会」の構成員ですが、各小学校から2名ずつ、その際、女性からの視点も考慮できるように、必ず女性職員を入れます。その他、各小学校からP T Aの役員を1名ずつ、計6名で組織します。

部会の詳細につきましては、資料2「船木小・椎柴小学校統合準備委員会P T A・通学部会設置要領」がございますので、ご参照ください。

なお、2つ目の部会である「学校運営部会」につきましては、「次回、第3回目の船木小・椎柴小学校統合準備委員会」にて承認をお願いする予定です。以上となります。

【会長】

事務局の説明につきましてご質問がありましたら、ご発言いただきたいと思います。いかがでしょうか。

【委員】

私よくわからないんですけど、第2条の中の船木小及び椎柴小学校の新設統合小学校のP T A組織って、それはP T A組織をどういうふうな組織にするかっていうことを、この設置要領でここで検討するってことですか。

【事務局】

はい。P T A組織のほうですが、各小学校にP T A規約というものがございまして、それに則って、何か行うこととか、またP T A役員を設置したりとかそういうことになりますので、それを新設小学校になりますと2つの学校を1つにしますので、そこで多分お互いのP T A規約を一度合わせて持ち寄って、このように新しい学校でやっていこうというふうに決めていくこと。それをこのP T A通学部会のほうでおこなっていくことになります。

【委員】

ということは、現在の船木小と椎柴小のP T Aのその規約なりがぴったり同じなはずはないと。全部すり合わせしていって見て、どういうふうなものにするかっていうのをそこで新しい規約を決めていくってことですね。そういう作業。

【事務局】

はい。そのような作業になります。それでもしこれの設置の承認がいただけたら、各小学校にP T A規約の方をいただいて、次回のP T A通学部会のところで、検討していただくということになります。それですり合わせをして、新設小学校用

に新しいPTA規約を作るという形になります。

【委員】

今、運営協議会だっけ。今、やらせていただいて。うん。それぞれの運営協議会
は残るんですか。地域の代表みたいな。今、やらせてもらってますから。

【事務局】

学校運営協議会は、今各学校ごとにありますので新設の小学校ができましたら、
新設小学校の協議会が一つできる形になるかと思います。

【教育長】

はい。それは学校ができあがった後、校長も後から決まりますので、それで初め
て地域に開かれたとにもある学校として学校運営協議会がその後に作られていくと
いう順番になるので。

【委員】

あとでくっついてくるってことですね。

【教育長】

これはもう立ち上がりの準備としては、こっちが先に今先にやってしまいましょ
うということになるんだと思います。ただ、これはここで決定することになる。通
学部会で検討するという。

【事務局】

はい。PTA通学部会のほうで、仮に新設小学校の新しいPTA規約のほうの案
ができましたら、この統合準備委員会にお諮りしてそこで最終的に承認をいただく
ことになっています。

【教育長】

ここでは決めないってことですよね。上の組織で。

【事務局】

一回部会の組織になりますのでそちらでもんでいただいて。できあがったものを
案として、この統合準備委員会のほうにお諮りするという。

【教育長】

作業部会的なものなんですよ。

【事務局】

はい。ここで一から話し合っていては、時間が足りないので、ちょっと部会ごと
にまずやっていただいているという。

【教育長】

ですから、そもそものイニシアチブのリーダーシップをこちらで取って行って、
さあこれです皆さんどうしましょうって考えるよりも、こういうところに課題があり
ますこうしたらどうでしょうっていうことも提案しながら進めていくことになる

思いますから。

【会長】

では、このP T A通学部会の設置についての承認ということによろしいですね。設置して良いかどうかですね。はい。ではP T A通学部会の設置について承認いただける委員の皆さまの挙手をお願いいたします。

(委員からの挙手)

【会長】

賛成全員で、はい。 どうもありがとうございました。 全員挙手があがりましたので、ではこれでするようお願いいたします。ではP T A通学部会の設置を承認しますということで、よろしくお願いします。

【委員】

そうすると、またこの後にP T A部会のほうを選出してくださいという流れになるわけですね。

【事務局】

はい。ご推薦をいただくということに。

【委員】

はい。なるほど。でもあんまり兼務しているとあれですね。兼務はいろいろ大変になるから。

【事務局】

委員さんの兼務はできないので、最終的にまたこちらで承認をいただく形になるので、委員さん以外の方から選出になります。議題を揉む人と決める人が一緒になっちゃうと。

【委員】

そっか。そうだよね、承認ですね。なるほど。

P T A組織の中からですね。

【委員】

これ、決めるのは結局、それぞれの学校のP T Aが集まって、決めなきゃいけないですね。

これはP T Aの会長はなれないってことだね。自分以外で選ぶ。

【教育長】

そうすると皆さまにお願いする段階で、これどのぐらいの回数やるのかとかそれからいつから始まるのかっていうところなんか、そう頻繁に何度もやるのものでもない。

【事務局】

はい。本日ご承認いただいたら、まず両校のほうには部員の推薦、あとPTA規約、現在の規約のご提供をご依頼させていただきます。そこで部員が確定させていただいて、二つの小学校のPTA規約を事務局で1回読ませていただいて、1回ちょっと素案といいますか、そういったものを出させていただいて、部員の皆様に集まって議論してくださいっていうのを目標としては年内にまず1回目ができるなというふうに考えてます。もう統合まで1年半を切りましたので、ちょっと時間的にも余裕がないので、議論を積み重ねていって、ちょっと具体的に何回というふうには決まってはいるんですが、年内12月までに第1回目を開催できればなというふうに考えております。以上です。

【会長】

はい。

【教育長】

ですから、全てがそこで決めるっていう形ではなくて、こちらのなかである程度原案を示させていただいたなかでご意見をいただくっていう会議。数回ってことになりますが、それぞれ今年内1回。

【委員】

現状、椎柴のPTA規約、多分ここ数年でいろんな、だいぶ縮小、役員もかなり縮小縮小で来て、規約もなんか結構変えて。ちょっと自分が見た感じいくつか不備がやっぱりあって。なので、ちょっと何かすり合わせるのも大変かと思うんですけど、すいませんが。

【教育長】

はい。それは大丈夫です。

【会長】

わかりました。

【会長】

すいません。ちょっとあの、質問です。あの年内に1回ということなんですけれども、すごくお忙しいところなんですけれども例えば来年の3月にはもう閉校というある意味、再来年ですね。それまでのスケジュールといいますか、逆算したスケジュールそういったものは出されるのでしょうか。

例えば今すごく本当に大変申し訳ないんですけど文書が来て、次はこれやるんだ。その都度わかったっていう感じなんですけれども、すぐ大変な作業かと思えますけれども逆算したスケジュール、年間を通した計画というのは、年間というか、来年度も見越した計画というものは出されるのかなと。つまりあの、小学校としましては今これまでにこういった備品を片付けようとか何とかそういったPTAはこういう

ことで整理しようとか、事務さんはお金の関係を通帳でこうやったりとか子どもの今集金の金額も椎柴小と船木小と違うので、そういった事務さんのほうではもう今スケジュールを立ててるようなところなんです。こういった大元の統合準備委員会のスケジュールがわかれば、それに合わせた動きがこちらでもできるのかなというような。

【教育長】

でもそれはこちらでも考えないと進まないの、統合までには何をしなければいけないのか。それをどの順番でやっていくか。なければ先に進まないの。当然それをあとお示しするかどうか。それどうですか。

【事務局】

私たちの考えるスケジュールと知りたいスケジュールが合わないんじゃないかっていうのがあって。

【教育長】

たとえば、これ12月に議会で校名を諮りますよっていうことが、今この場で初めて皆さんそうなんだってということじゃなくって、それが先にわかっているといいよねっていうことがおっしゃるとおりだと思うので、スケジュールはあらかじめ、ここまでを目途にみたい。そうすればここ、こういうことをやればいいんだっていうのが見えてきて、それがいつぐらいまでなんだよねって。

【会長】

はい。そうですね。

【事務局】

全体像のスケジュールは統合準備委員会の皆さまにお配りするような形でよろしいですか。

【委員】

その話題が出たからもう一つ。あと進捗もちょっと、都度とは言わないけど、ある程度まとまった時点で教えてもらいたいんです。どういうことかという、たとえば六中改修する改修するって言われていますが、六中の改修はどういうことをするのかとか知りたいんです。なんでかという、実際入るのは小学生なので、やっぱり先生方みんな中学校仕様のものを小学校仕様にするんだけど、本当に大丈夫かしらねっていう不安がすごくつきまとっているんです。前回、私も日曜日行きましたが、やっぱり六中、中学校だけあって、階段自体も高いんですよ。小学校の階段に比べると全然高くてですね。それだとやっぱり1年生とか、低学年の子どもたちって結構階段の昇り降りも気をつけないと、ちょっと危ないなと思うところもありますし。あと椎柴小学校は全部右にも左にも手すりがついてまして、だから多少体が不自由だったり、低学年の子であったとしても手すりをつかむことで、高かつ

たとしてもですね、上がっていきたりすると思うんですが、今現在六中のほうは右側にはあるんですけども。下り方面に向かつては全然ないんです。だからそういうのも付けるのかつけないのかとか。そういうのも教えてもらえたら、付けないっていうのは自分の中ではなんかありえないなって言ったら変ですけども、つけることで考えていただいたうえで、こういうところもこういうあれが欲しいとか、そういうのも意見として出せるような場があるのかないのかっていうのも知りたいっていうのもありまして、それでどういう進捗になっているのかっていうのをやっぱりある程度知りたいっていうのがあります。

【会長】

確かにそうですね。

【委員】

あの同じことを私もこの間六中文化祭でやって、あれ、これ小学校このまま何度か行ってやろうって、あそこおそらく階段ばかりで、私はもう年寄りですから、後期高齢者ですからねって小学校の話関係ないって思ったけども、雨なんかで下るとき怖いんですね。あれ、これ小学校一年生この段差おりられるのかなとか、トイレはこのままちょっと小学生仕様なんつうかなとはそういう目で見てましたけどね。たとえばその基準なんかで、その一つの段差が小学校基準の何センチとか中学校基準何センチとかって、そんな基準全部決まりだとかとか、余計なことちょっと考えちゃいました。最初設計屋さんが設計するときね、学校の基準というのは何かあるんじゃないかな。一番最初の六中、小学校って話なんですけど、あれ本当小学生仕様、金かかるんじゃないとか、いろんなこと言ってたと思うんですからね。直接関係ないし、あんまり関係ないか知らないけど余計なことですけども、ちょっと思ったことを話しました。

【委員】

やっぱり何かそういう改修的なところのスケジュールなんかも、ある程度わかったら流せるだけでもいいので、こういうところをこういうふうに変える予定ですか、そうしたら、場合によってはもう1回私達も小学校目線で見さしてもらうとか。そういうことをちょっとしたいなっていう。

【委員】

その改修にあたっては、こっちの意見みたいなんで入るんですかそういうこうしてほしいとかっていうのは。

【会長】

確かに、うちの職員も言ってまして、希望が出せるかどうかということですよ。はい。

【事務局】

改修工事、実際設計の方は入っておりますのでちょっと改めて、皆さんに改めて細かいところをお伺いするっていう時期はもう逃しちゃってるような状況になってますね。

【会長】

なるほど。

【教育長】

ただ、石松校長先生がおっしゃったような手すりを例えばもう一つ付けてほしいとか、そういった要望がいろいろあってそれを叶えられるところは叶えるっていうような微小の変更はできると思うので。だからもうこっちで設計はしたからこれをお願いしますっていうわけにはいかないです。それはそういうふうにはしません。ちゃんと皆さまのご意見で入れられるところは入れるということ。せっかくいてそこで小学生の子どもたちが対応できないってことになるって困るんで。ただ、今言ったように階段の高さを変えてくださいってのはそれは無理ですし、子どもたちがその中ではね、できるだけ過ごしやすい学校にしたいってことであればしたいと思いますが、その場合、その情報をどうするかっていうところがあるんだけど、そうしますと、設計図を出しますか。

それともう一つ、椎柴小学校と船木小学校の先生方とかね。この間、六中も見えますけど文化祭で。改めて見てもらって小学校仕様にするとすれば、生活をする、主に安全に、安全に生活するという視点から、こういったところが必要だっていう、何か意見なりをちょっともらって、こちらのほうで設計に加えられるものがあれば再検討する余地があります。

【事務局】

設計はちょっと厳しいかもしれないんですけども、実際の工事に当たってここを追加して欲しいっていうものは叶えられる部分は出てくると思いますので、お話は皆さんに伺っておこうとは思っています。

【教育長】

手すりはその工事の中で追加できる部分の一つに入っちゃう。

【事務局】

そうだと思います。はい。

【委員】

もしかしたら最初から設計に入ってるかもしれないし。今の時代ですから手すりはもう必須ということで。それはわかんないですよ。

【教育長】

そこは大きな金額の動くものじゃないからね。

【事務局】

そうですね。

【教育長】

そうすると、どうしても先生方の負担もなっちゃうかもしれないけれども、急遽見ていただいて先生方の希望があれば、もう1回見て意見を出せますか。

【会長】

今、教育長がおっしゃってるとおりに希望が職員からでております。希望したいということで。なので、その今着工がどこまで進めてるかわからないですけども。

【委員】

それすらも全然わからないですね。

【会長】

そうですね。もし希望を出していいのであれば、それをちょっといつまでに出して。

【委員】

そんな細かいことじゃなくて、本当に大切なところっていうところで。

【教育長】

まだ一度も設計内容は示されてないでしょう。

【事務局】

はい。全然。

【教育長】

出されましたがはいわかりましたこの設計でOKですってわけ通常いかないでしょう。

【事務局】

そうですね。当然それはこちらでもチェックを。

【教育長】

これチェックして、いやちょっと待ってこれはこうこうこうしなおしてほしいっていうのは当然そういう機会はあるんで。そこにその先生方の意見を通していただく。

【委員】

ありがたいです。

【教育長】

こういう意見があるからこういう形で設計してくれっていうのはもう無理だから、設計上がってきた段階で先生方の意見、こちらを見直す意見を募集する際に、先生方の意見を取り入れるっていうことであればいいのかなって思うし、こちらもそのほうが言いやすいっていうところですかね。

【会長】

出させてもらって本当に無理なところは無理でも、こちらもそれもう承知しますし。

【委員】

充分わかってるんですけど、せっかく資料にしてくださるってことなら、より必要なところとか、重要なところに焦点を当ててやってもらいたいっていうのがあります。

【会長】

そうですね。

【教育長】

基本、原則としましてはハードの部分を、壊して建て直すことはできないってことです。そのうえでのご意見をいただきたいというところです。

【委員】

はい。いつからいつまでの期間で見てくださいとか、それでも全然いいです。

【会長】

はい。

【委員】

そうしたら、それをこちらでもそういう時間を取るようになります。

【教育長】

11月中いっぱいぐらいまでに見ていって、挙げていただくっていうぐらいのスケジュールを提案するのはいかがですか。まず1回目にこちらに提示していただくのはいつなんですか。

【事務局】

そういったスケジュールは組んでいないです。

【教育長】

ないでしょ。だからまだ先なんだよ。

【事務局】

あとは、その設計業者とどこまで話しているかという、技師のほうか。

【教育長】

それは、そっか。今日いないから。

【事務局】

調整します。

【委員】

お願いします。

【事務局】

11月中に開催できたらいいなっていうぐらいな感じで。

【教育長】

それはもうこっちはやんなくても、学校ごとに行ってもらっちゃって。それであれじゃない。

【事務局】

結局今うちの持ち物ではないので。

【教育長】

管財の物だから。

【事務局】

そうですね。管財のほうに確認を取って、あと他の予定とかぶらないときとか。

【教育長】

こっちもついて鍵開けて。

【事務局】

そうです。簡単には開けといて見ていいよっていうわけに、ちょっといかないので。

【教育長】

それは調整で。

【事務局】

はい。

【会長】

ありがとうございます。どうもいろいろご意見ありがとうございます。他は何かをどうしよう。これが最後、これで最後ですよ。お気づきの点、いかがでしょうか。全体通してよろしいですか。何か事務局の方で。

【事務局】

大丈夫です。

【委員】

私、通学方法はちょっと遠くなる人もいるからどうするかっていうので、学用品って何を検討するんですか。

【事務局】

名札とか体操服とか。

【教育長】

共通の物。

【事務局】

そうです。学校の中で使う共通の上履きとか、そういうものが。

【委員】

両方で違ってるものは、検討。そうか。

【事務局】

だいぶちょっと細かい話になってしまいますので。

【会長】

そうですね。

【教育長】

名札は変わっちゃうと思いますけどね。ただ、他のものはね使えるのはこのまま使おうとか。でも新しく入ってくる子たちについては統一の物になるんだろうと。そこをすり合わせて、今は上履きは皆バラバラでもいいでしょってことになれば。

【委員】

たとえば本持っていくとして、両方からが持っていった場合このまま、あれでしょう。備品の選定は別、学用品じゃないのか。そうですね。

【事務局】

そうですね。こちらだと見てもまた別の備品の関係になるので、そちらはそちらで動いて。

【委員】

それは学校運営部会ですか。

【事務局】

備品に関してはこちらで使う物の選定を、またそれぞれの学校さんのほうに投げる準備を今しているところですので、そちらの通知をご覧になっていただいて、選定のほうをあとでお願いしたいと思います。

【会長】

ありがとうございます。今日のあの大切な議題二つ、学校名と、先ほどの設置については一緒にいただいたので、はい。本日これで終了になりますけれども。

【委員】

この前の、校名さえ決まれば、あとは何だっけ、校章だの何だかって、学校始まってからでもいいじゃないかっていう。あれがこの前の会議で出てましたけども、それは別に今日の話じゃないんですか。

【事務局】

そうですね。本日の議題ではないんですけれども。

【委員】

校章と校歌か。

【事務局】

校章と校歌ですね。それは次の議題とさせていただこうと思っておりますので、またご依頼します。

【会長】

はい。ありがとうございました。ではよろしいですか。

【委員】

はい。

【会長】

はい。では以上をもちまして第2回会議の議事を終了いたします。委員の皆さま方には会議にご協力いただき、ありがとうございました。

(4) 連絡事項

【進行】

川口会長、栗原副会長ありがとうございました。

続きまして、「4 連絡事項」です。事務局から、お願いします。

【事務局】

次回の統合準備委員会は、令和8年1月中旬頃開催する予定です。内容につきましては、校名の条例議決報告、学校運営部会の設置について、校歌、校章の選定方法についてとなります。開催日が正式に決まりましたら、通知文書を送付させていただきます。連絡事項は、以上です。

【教育長】

お時間はいかがですか。今日18時ということで、皆さまお仕事のあるなかでこういう時間を設定させていただいてますが、皆様のご都合によっては早めることも可能ですが、皆さま、ご負担のない時間や、うちは早くなることは構わないですよ。

【委員】

私は通常は定時が早いんで、全然。

【委員】

定時が早いって何時ですか。

【委員】

14時です。6時半14時なんで。

【委員】

朝早い、6時半だと遅くないほうが本当はいいんでしょうね。

【委員】

ちょうど子どもをお風呂入れたりとかっていう時間なんで、もうちょい早ければ早いほど。それこそ16時半とか全然大丈夫ですよ。

【教育長】

学校のご都合はいかがですか。

【会長】

学校は、はい。16時半終わりですね。

【教育長】

地区代表のお二人はいかがですか。

【委員】

私は全然いつでも。

【委員】

私は個人的ですが、日曜日と水曜以外はちょっと夜に仕事をしてるんですね。ちょっと早い時間なら。

【教育長】

16時半開催でも。

【事務局】

そうですね。次回は16時半開催ぐらいを予定させていただきます。

【会長】

はい。ありがとうございます。

【事務局】

ありがとうございました。では16時半で。

【進行】

それでは、以上をもちまして本日の会議を終了させていただきます。
遅くまでありがとうございました。

(以 上)